

エクアドル（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在エクアドル日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	1	1	20	2	15	125	3	16	145

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

大学機関での日本語教育としては、1990年よりキト・サンフランシスコ大学での公開講座が開講し、現在も直接契約の日本人教師により同講座は継続中。また、1992年よりキト・カトリカ大学にJICA海外協力隊の日本語教師が派遣され、現在は直接契約の日本人教師により、日本語講座（公開講座）が開講されている。

一方、1996年よりグアヤキル・カトリカ大学にもJICA海外協力隊の日本語教師が派遣され、日本語講座（公開講座）が開講したが、現在は閉講中。また、2002年1月～2020年7月、グアヤキル市のエスピトゥ・サント大学の言語学部に日本語教育（公開講座）が設置されたが、コロナ禍での日本語教師不在により閉講し、2023年に日本語教師派遣が一旦再開するも、現在は閉講中。マナビ・カトリカ大学では、2004年11月に第二外国語としての日本語コースを新設し、2004年9月～2006年9月、JICA海外協力隊の日本語教師1名が派遣されたが、現在同講座は閉講中。なお、グアヤス県（グアヤキル市）及びマナビ県は、エクアドル国

内でも治安情勢の悪化が顕著な地域であり、安全上の理由から日本語教師の派遣が困難であることが、日本語講座が実施できない大きな要因である。

また、2005年4月、キト市のパシフィック大学も日本語講座（公開講座）を開設したが、現在は閉講中。2011年10月、トゥングラウワ県のアンバト技術大学に日本語コースが開講したが、その後教師不足により一時閉講となったのち、2015年10月より再開したが、コロナ禍により2020年10月以降は再び閉講中。2014年にアスアイ県のクエンカ大学で日本語コースが開講し、2015年度より3年間、国際交流基金日本語普及活動助成を受けたが、その後は閉講中。2016年4月にはインバブラ県のヤチャイ大学で日本語クラブが設置され、日本語授業が行われたが、現在は閉講中。

上述の通り、多くの大学では日本語講座が閉講中である一方、2009年6月に国内初の日本語学校が元 JICA 海外協力隊の日本語教師によってキト市内に開校して以降、民間の日本語教育機関が複数存在し、対面およびオンラインでの日本語講座が開講されている。2025年1月には有志の日本語教師らによるエクアドル日本語文化普及協会が発足し、日本語教育の普及活動が目指されている。

特徴

- キト・カトリカ大学及びキト・サンフランシスコ大学において、日本語は各大学の学生以外にも受講できるよう公開講座となっている。正規学生にとっては外国語の選択科目のひとつであり、卒業単位を取得できる。教師は直接契約の日本人教師である。
- 日本からの移民受け入れなどの歴史がないため、日系人を対象とする日本語教育（継承語教育）機関はないが、在留邦人の子どもに対し、キト市の日本人学校補習校において毎週土曜日に日本語の授業が日本人のボランティア、父兄によって実施されている。

最新動向

2026年1月現在、日本語教育が行われている大学は2校で、教師数は2名、学習者数は約40名。語学学校（学校教育以外）における教師数は約10名、学習者数は不明。

教育段階別の状況

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

<キト・カトリカ大学>

キト・カトリカ大学では、初級から中級までのコースが設置されており、各レベルの総授業時間数は80時間である。授業は、毎日2時間の集中コースに加え、平日毎日約3時間実施される夏期集中コースおよび冬期集中コースが用意されている。ただし、開講されるコースは受講者数および受講者のレベルによって毎回異なる。2026年1月時点の総学習者数は22名である。同大学は関西外国語大学と、両大学から各1名を派遣する交換留学協

定を締結しているが、コロナ禍およびエクアドルの治安悪化の影響により、現在は交流が途絶えている。

<キト・サンフランシスコ大学>

キト・サンフランシスコ大学では、初級・中級の各コースが設置されている。授業はいずれも週4回、各80分行われ、1学期に2つのレベルで構成される初級または中級のうち1コースが開講される。各レベルの総授業時間は35時間で、2026年1月時点の学習者数は18名である。同大学は、関西外国語大学と協定を結んでおり、夏学期を中心に短期留学が実施されている。また、2022年からは日本文化の普及を目的とした「りゅう祭」が一般公開行事として定着しており、日本文化への関心を高め、学習者増加の追い風となっている。

学校教育以外

キト市内に所在する ESCUELA DE IDIOMA JAPONÉS FUJINO, JAPONÉS CON YUKI, AOI JAPONÉS, SAKURA GAKKOU や、グアヤキル市に所在する TANOSHI JAPONES, JAPONÉS FÁCIL 等の民間の教育機関において、対面及びオンライン授業が行われている。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

10-3 制。

- (1) 就学前教育 (Educación Inicial) : 3歳以下及び、3歳~5歳のクラスの2種類が含まれる。
- (2) 初等教育・前期中等教育 (Educación General Básica (EGB)) : 1年生 (5歳)、2~4年生 (6~8歳)、5~7年生 (9~11歳)、8~10年生 (12~14歳) の4種類が含まれる。
- (3) 後期中等教育 (Bachillerato) : 1~3年生 (15~17歳) が含まれる。
- (4) 高等教育 (Educación Superior) : 大学、工科大学等。

教育行政

初等、中等、高等教育機関は文部省の管轄下にある。

言語事情

公用語はスペイン語。

外国語教育

小学校1年生から第一外国語 (必修) として英語が教えられている。英語以外の外国語については各教育機関によって必修・選択の言語が異なる。

バイリンガル幼稚園がいくつか存在し、私立の学校では、英語の早期教育を行っている。またキト市には、ほかにも英国、米国、ドイツ、フランス、オーストラリア、カナダ、イタリアなどの国際校があり、それぞれの母国語、英語の教育を行っている。

外国語の中での日本語の人気

日本のテレビアニメや漫画が人気であり、アニメから日本語に関心を持つ青少年が多く、日本語学習に関心を持つ者は増加傾向にある。2025 年にはエクアドル初のワールドコスプレサミットが開催され、多くのコスプレイヤーや日本文化愛好家が集結した。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4.学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

- キト・カトリカ大学

オリジナル教科書『もしも日本語が話せたら』潮田ちせ（キト・カトリカ大学） 副教材→『日本語かな入門スペイン語版』国際交流基金日本語国際センター（凡人社）、『BASIC KANJI BOOK VOL1、2』加納千恵子ほか（凡人社）

- サンフランシスコ・デ・キト大学

坂野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子『初級日本語げんき 1』（ジャパントイムズ）

坂野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子『初級日本語げんき 2』（ジャパントイムズ）

※視聴覚教材も同様

学校教育以外

『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）、『BASIC KANJI BOOK VOL1、2』加納千恵子ほか（凡人社）、『日本語かな入門スペイン語版』国際交流基金日本語国際センター（凡人社）、『まるごと 日本のことばと文化(A1 入門・初級 A2、初級 A2/B1 初中級)かつどう』独立行政法人国際交流基金（三修社）、『DVD で学ぶ日本語 エリンが挑戦 にほんごできます』国際交流基金日本語国際センター（凡人社）

IT・視聴覚機材

大使館が貸し出している日本紹介 DVD（ジャパントイムズ・ビデオ・トピックス）を授業に用いたケース有り。

5.教師

資格要件

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

キト・カトリカ大学で日本語教師に求められる条件は、修士課程修了（もしくは修了見込みまたは同等の資格があること）、日本語教員養成課程を修了していることが求められる。

キト・サンフランシスコ大学では修士課程修了（もしくは修了見込みまたは同等の資格があること）が求められる。

学校教育以外

元 JICA 海外協力隊を含む複数の日本語教師が中心となって日本語学校を開校し、教師を務めている。そのほかに適切な教育を受けたエクアドル人も教師を務めており、国際交流基金の海外日本語教師長期研修（2011年9月）や海外日本教師短期研修（2020年1月）等に参加した。

日本語教師養成機関（プログラム）

エクアドルで日本語教師養成を行っている機関、プログラムは確認されていない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

キト・カトリカ大学及びキト・サンフランシスコ大学では2026年1月現在、同大学との直接契約により日本人1名が教師を務めている。

教師研修

大学内の教育者対象の定期セミナーや各種講座、不定期の言語学、外国語教授法などの研修があるが、特に現職の日本語教師対象の研修はない。

現職教師研修プログラム（一覧）

（現職の日本語教師対象の研修はない。）

6. 教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

2016年にエクアドル JLPT 日本語教師会が設立し、JLPT を運営している。2025年1月には有志の日本語教師らによるエクアドル日本語文化普及協会が発足し、日本語教育・文化交流の推進、および指導者への幅広い支援活動を行っている。

[教師会・学会一覧へ](#)

最新動向

- 2017年1月、10月に JF サンパウロ日本文化センター日本語専門家による「第一回教師研修会」が実施された
- 2017年10月 サンパウロ日本文化センター日本語専門家により「第二回教師研修会」が実施された
- 2017年9月 「第三回スペイン語圏日本語教育連絡協議会」エクアドル代表参加する
- 2018年9月 「第四回スペイン語圏日本語教育連絡協議会」エクアドル代表参加する
- 2018年7月-12月 「エクアドル、コロンビア、ベネズエラ三か国合同川柳俳句コンテスト」が実施された
- 2018年10月 日本エクアドル外交関係樹立百周年事業の一つとして、エクアドル JLPT 日本語教師会主催「全国日本語プレゼンテーション大会」が実施された
- 2019年9月 「第五回スペイン語圏日本語教育連絡協議会」エクアドル代表参加する
- 2020年10月「第六回スペイン語圏日本語教育連絡協議会」エクアドル代表参加する
- 2023年11月「日本語教育シンポジウム 日本語教師研究会（リマ）エクアドル代表参加する

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

その他からの派遣

（情報なし）

8.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

9.評価・試験

共通の評価基準や試験は確認されていない。

10.日本語教育略史

1990年	キト・サンフランシスコ大学にて日本語教育（公開講座）開始。 現在も直接契約の日本人教師により、日本語講座（公開講座）開講。
1992年	キト・カトリカ大学に青年海外協力隊の日本語教師派遣開始。 現在も直接契約の日本人教師により、日本語講座（公開講座）開講。
1996年	グアヤキル・カトリカ大学に青年海外協力隊の日本語教師派遣開始（現在閉講）
2002年	グアヤキル市のエスピリトゥ・サント大学の言語学部内に日本語コース（公開講座）開講。日本語教員インターンシップ協定により日本語教師が派遣されたが、現在日本語講座は開講。
2004年	マナビ・カトリカ大学にて日本語コース（第二外国語）新設（現在閉講）。
2005年	パシフィック大学にて日本語講座（現在閉講）。
2009年	国内初の日本語学校 FUJINO 開講
2011年	アンバト技術大学外国語学部（現外国語センター）にて日本語コース新設。（2015年に再開するも、2013年より現在閉講）。
2014年	クエンカ大学 日本語コース新設（現在閉鎖）
2016年	エクアドル JLPT 日本語教師会設立
2016年	ヤチャイ大学 日本語コース新設（現在は閉鎖）
2025年	エクアドル日本言語文化普及協会設立

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。
なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

Eメール：kunibetsu@jpf.go.jp

(メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください)